

8/25 ニマづくり熱中

DOMA秋岡芳夫北海道置戸展の記念イベントとして、「秋岡流縄文式木工—樹のかたちの器ニマづくり」がどま工房で行われました。指導にあたったのは秋岡さんのモノづくりの遺志を受け継ぎ、東京で活躍する「しぶや木工塾」の皆さん。参加者は、額に汗して丸太をくり抜く作業に没頭し、すっかり樹の器づくりの虜になったようです。



8/28 中学生が職場体験学習

中学2年生21人が8月28日からの三日間、置戸日赤病院や、生涯学習情報センター【写真】など町内12の事業所でさまざまな仕事を体験。職場体験学習は、文部科学省が推奨する学習活動の一つで、置戸中学校で取り組むのは今年で6年目。参加した生徒にとっては、働くことの意義や喜び、厳しさなどを知る大変貴重な機会となりました。



8/29 人形劇に歓声

置戸小学校芸術鑑賞公演が同校体育館で開催され、1年生から6年生までの全校児童が鑑賞しました。今年は、人形劇団プークが日本人の心の風景をうたった詩劇「こどものための人形日本風土記」と、アイヌの少年の物語「小さなトムトム」の二作品を公演。大小さまざまな人形が舞台上を動くたびに子どもたちから歓声があっていました。



8/31 ごみ処理施設を見学

置戸町女性団体協議会では、ゴミについての理解を深めようと、ゴミ処理施設の見学ツアーを実施。この日は、北見市内のプラスチック処理センターなど三施設をバスで巡り、各家庭から排出されたゴミの行方や、混入した異物を職員が手作業で除去する様子などを見学し、ゴミの分別・収集に対する「意識」や「知識」を高めていました。

